

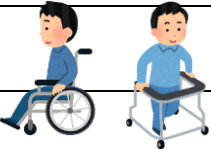






脊椎矯正固定術を受けられる患者さんへ

患者ID _____ 主治医 _____ 担当医 _____
 フリガナ _____
 患者名 _____ 受持看護師 _____

| | 手術当日（帰室してから） | 術後1日目 | 術後2日目 | 術後3～7日目 | 術後8～退院 |
|-------|---|---|---|---|---|
| 目標 | 鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。 装具の必要性を理解でき、確実に装着することができる。 安静を守ることができる。 | | 装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 座ることができる。 トイレで排泄することができる。 食事を自立して行うことができる。 | 装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 座って装具の付け外しができる。 転倒なく歩行器で歩くことができる。 トイレで排泄することができる。 自分で更衣をすることができる。 | 装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 転倒なく杖で歩くことができる。 日常生活の注意点を理解して、生活が自立しておくれる。 |
| 治療処置 | | | 創の消毒が始まります。 創の所に入っている管を術後2日目、または3日目で抜きます。 | 歩行開始翌日よりストッキング除去します。術後10日目に抜糸を行います。 | |
| 点滴内服薬 | 持続的に点滴をします。 | 朝より、手術前に飲んでいた薬を再開して内服します。 | 点滴は朝の抗生剤後に終了します。 |  | |
| 検査 | 血液検査を行います。 | 血液検査を行います。 | | 術後3、術後7日目に血液検査を行います。 術後3日目に下肢超音波検査を行います。 術後5日目にレントゲン、術後6日目にCTの検査を行います。 術後10日目にMRI検査をします。 | 術後14日目に血液検査をします。 |
| リハビリ | | ベッド上での訓練を開始します。 血栓予防や足の筋力を保つ訓練を病棟で行います。 | 日曜日・祭日のリハビリはお休みです。 個人で病棟で頑張りましょう。 1日目にリハビリテーション部の応診があり、本格的に運動を開始します。（立つ練習、歩く練習） | | |
| 安静度 | 手術後はベッド上安静です。 ベッドは30度まで上げることができます。 看護師の介助で横向きになれます。 | 装具（フィットキュアスパイン）を付けて30度までベッドを上げることができます。また、自分で横向きになることができます。 | 装具（フィットキュアスパイン）を装着し、状態に応じて看護師と一緒に、車椅子や歩行器でトイレまで行くことができます。 | 装具（ヒップスパイカー）を装着後は、状態に応じて院内を自分で歩行することが出来るようになります。 |  |
| 食事 | 当日は食べ物は食べてはいけません。 | 朝、お腹の動きが良ければ（ガスが出れば）水分を摂ったり、食事ができます。 |  |  | |
| 清潔 | | 看護師が体を拭きます。 |  | 術後3日目から看護師介助で、シャワーを浴びることができます。 装具を外した状態で座ることが出来ないため、SW浴時は立位、またはストレッチャーを使用します。 | |
| 排泄 | 手術室より、尿の管が入って帰ってきます。 | 尿の管が入っています。 排泄はベッドの上で行います。 | 装具（フィットキュアスパイン）をつけて移動ができるようになれば尿の管を抜きます。 トイレに行くことができます。 | | |
| 説明 | 医師より手術についての説明があります。 痛みがある時は遠慮なく声をかけて下さい。 |  | | 退院や転院の方向性について主治医からの説明があります。 退院や転院を考えて、日常生活動作や運動について説明します。 ・整容（髪をとかす・洗顔ができる・歯磨きができる・衣類を整える） ・トイレ動作が獲得できているか ・一人で移動ができるか ・装具が装着・脱着できるか ・転倒が予防できるか |  |
| その他 | | | | | 退院おめでとうございます！ |